

## 林業普及週間現地情報

森林管理課

### きのこ教室（第2回）の開催について

7月25日（火）

7月25日（火）に、名護市で小学生以上の子どもを対象に「きのこ教室」を開催した。8組24人の親子の参加があった。

本イベントは、平成29年度沖縄県産きのこ消費拡大事業（委託事業）の取り組みの1つとして実施したもので、全4回のうちの第2回目。2回目は、きのこの生産現場を見学してきのこを身近に感じてもらうとともに、見学後は参加者に菌床をプレゼントして、家庭できのこの成長状況を記録してもらう自主学習へとつなげる取り組み。今回は「おきなわきのこ最前線」と称し、NA-BA生産企業組合の上原学氏に講師を依頼した。

まず、名護市旭川の施設で、上原氏から菌床によるきのこの作り方を学び、持ち帰って観察してもらうきくらげの育て方を教わった。その後、場所を屋部の施設に移動し、しいたけの発生状況を見学した。

上原氏から、きのこは農薬や化学肥料などを一切使わずやんばるの樹木を使って育てていること、しいたけは夏場は冷房が効いた施設でしか上手に育てられないことなどの説明を受け、参加者は興味深そうに聞いていた。参加者からは「1つの菌床からどのくらいの量がとれますか」「しいたけの軸は食べられますか」「水はどれくらいやったらいいですか」など、素朴な疑問がよせられた。

また、見学の最後にしいたけときくらげの試食（蒸し焼きのポン酢かけ）を提供したところ、子ども達を中心に好評で、たくさんのおかわりがあった。普段きのこはあまり好まないという子どもが何度も手を伸ばしていたのが印象的だった。

なかなか見ることのないきのこの生産現場を見学することで、新鮮な県産きのこに興味を持ってもらえたと感じた。また、持ち帰った菌床を夏休みの自由研究として観察してもらい、きのこをさらに身近に感じてもらえることを期待したい。

（報告者：森林管理課 眞鍋）



きのこの栽培方法の講座



しいたけ・きくらげの試食